

最新動向の把握

調達担当者のための 脱炭素調達セミナー

開催日時 **2026年 8月 5日(水)** **オンライン** 半日 13:00~16:00

対象 **・購買・調達部門の方** **・脱炭素調達に関心のある方** **・経営企画部門、脱炭素調達を扱う部門の方**

講師 **坂口 孝則 氏**

未来調達研究所(株) 取締役

参加料(税込)

法人会員：35,200円/1名

会員外：41,800円/1名

※参加料にはテキスト(資料)費が含まれています。
※法人会員ご入会の有無につきましては以下URLにてご確認ください。
<https://www.jma.or.jp/membership/>
※お申込みページ内参加申込規定を確認・同意のうえお申込みください。

ねらい

脱炭素に向けた世界の動きととるべき施策について、主に購買・調達部門の方向けに解説するプログラムです。

脱炭素調達に取りくまなければならないとわかっているのにどこから手をつけたらよいのかお悩みではないでしょうか？まずは、世に出ている資料を正しく理解し、自社の戦略におとしこむことが重要です。

本セミナーでは調達人材に必要な「脱炭素に向けた温室効果ガスの算定方法」をお伝えするとともに、脱炭素に寄与するサプライヤをマネジメントする方法や社内制度についても解説する実践的な内容となっています。

各社の最新動向を知りたい方、これからのサプライヤマネジメントのポイントを押さえたい方はぜひご参加ください。

参加者の声

- 紹介いただいた各種資料は理解を深めるだけではなく、アイデア創出につながるものだった。どのように解釈すればいいのにも言及されており良かった。
- Scope1~3について概要が把握でき、計算方法などの説明が参考になった。ずっと気になっていたことについての質問に回答いただけ満足です。
- あっという間の3時間半でした、共有いただいた情報も現在困っていたGHG排出量試算で大いに活用できそうです。
- 調達部門はコスト削減が目がいきがちであるが、CO₂削減も今後同じような意味合いを持つかもしれないと思うと参考になりました。

■ プログラム

13:00~16:00

1 脱炭素に向けた世界の動き

- 世界が環境問題に注目する理由
- TCFD/RE100について
- SDGs/CSR/ESGの関係

2 サプライチェーン温室効果ガスの算定方法

- サプライチェーン排出量 (Scope1+Scope2+Scope3) の定義
- 調達部門の関与
- 対象調達品の設定、活動量把握
- 排出原単位データベースについて

3 温室効果ガス排出量の

サプライヤに算定してもらう

- サンプル工程
- 工程ごとの分析
- 排出原単位のあてはめ
- CO₂以外のGHG換算

4 脱炭素に向けたサプライヤ・マネジメント

- サプライヤ目標値の設定
- サプライヤ評価軸の設定
- 調達業務の温室効果ガス削減手法
- 脱炭素社会に向けた社内制度の設定

※プログラム変更される場合があります。あらかじめご了承ください。

